

南街公民館・市民企画運営講座 街づくり懇談会 「子育ての取組は家庭と地域で」 第四回「今どきの教育、ディベートって何？」

市民企画運営委員
2022年01月13日

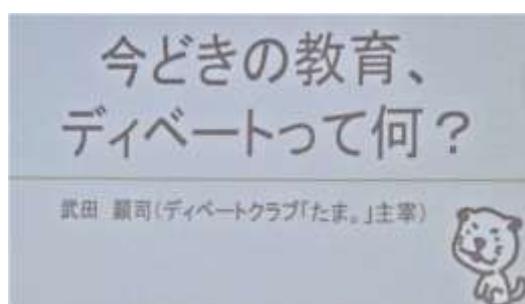
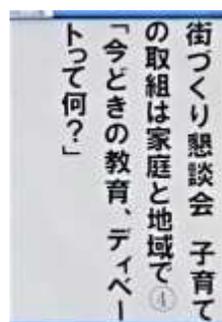
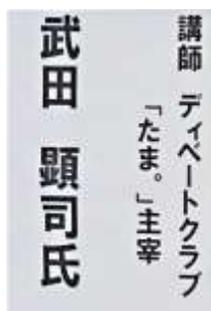
2021年度第四回表題講座が、1月13日に南街公民館202号室で開催されました。

◎「今どきの教育、ディベートって何？」

について武田顕司様(ディベートクラブ「たま」主宰)に、講演をして戴きました。

◎ 地域活動案内

については今回、地域の当該活動を確認出来ず、案内はなしと致しました。



総司会；南街公民館
尾又様



企画委員；第四回司会
三上様



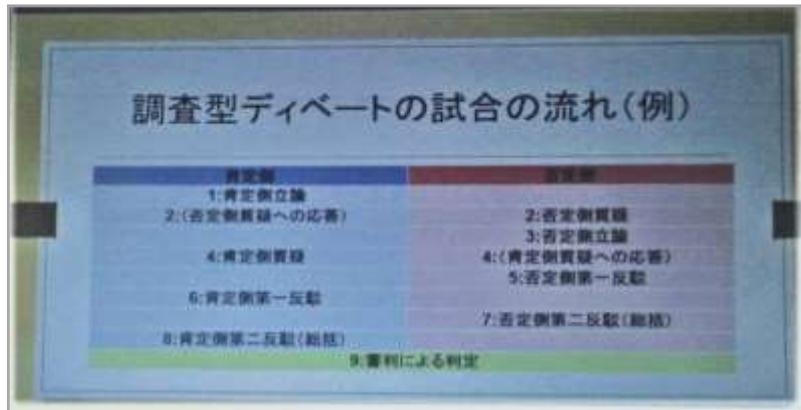
講師：
武田顕司様



★プロジェクターによるご講演（資料②③）



★「調査型ディベート」の試合



資料②の

「2)調査型ディベートについて知ろう！」の中で、小学生による試合の流れを動画視聴。



本来は対面の形式が望ましいが。



★参考資料の添付

本日の講演会で使用した資料は以下の通りです。

- ①「南街公民館・市民企画運営講座 街づくり懇談会」案内 ; P3
- ②「今どきの教育、ディベートって何？」 ; P4～P6
- ③「家庭でできる練習」 ; P7～P9

資料①

保育付

南街公民館・市民企画運営講座 **街づくり懇談会**

「子育ての取組は家庭と地域で」※

コロナ禍で子育ては増々大変に。今後の子育てで必要な今どきの基礎的知識・ノウハウを、保護者・地域の人も共に学び、スクラムを組みませんか？ 保護者の方、地域の子育てを助っ人したいと思っている方、多くの方々のご参加をお待ちしております。保育付の方は連続でご参加ください。夫婦での参加歓迎です。保育付でない方は単発で参加できます。

❄️ 場 所：南街公民館 202号室

❄️ 定 員：先着60人

❄️ 日にち・内容：下表のとおり（毎回木曜日 全6回）

時 間：午前10時～正午

地域ボランティアのお話も伺います

回	日時	テーマ	内容	講師+地域ボランティア
1	12/ 2 (木)	子ども達のオンラインメディア・コミュニケーションとどう向き合うか	GIGA スクール構想で進む1人1台の活用、これに伴う保護者の懸念にどう応えるべきか。家庭でのICTとの付き合い方を学ぼう。地域のネット支援者も参加して聞いて下さい。	豊福晋平氏（国際大学GLOCOM准教授） 東大和どっとネット会員
2	12/ 9 (木)	AIに負けない子育て—親子で読書好きになる	AIに負けない子育ての一環として、子どもの読書好きへの工夫を知ろう。地域の読書支援を利用しよう。	内田伸子氏（お茶の水女子大学名誉教授） ぼけっと文庫世話人
3	12/14 (火) 【日にちにご注意】	ちょっとした工夫で豊かな食事	バランスよく食べるには？ 工夫いろいろお伝えします。	多摩友の会 東大和市南街こども食堂スタッフ
4	1/13 (木)	今どきの教育、ディベートって何？	保護者もディベートに関する知識を持ち、今どきの教育に対応できる心構えを持とう。	武田顯司氏（ディベートクラブ「たま。」主宰）
5	1/20 (木)	コロナ禍と子どもの心理	子どもの自殺が増えている。コロナ禍における今どきの子どもの心理を学んで絆を深め、危機を乗り越えよう。	菅野恵氏（和光大学教授） 市内放課後子ども教室コーディネーター
6	1/27 (木)	親が知っておくべきこれからの金事情	コロナなど、何が起きるかわからない時代。子どもにもお金教育が必要。これからの生き方に影響するお金事情などをお子さんにどう伝えるかに関する基礎的知識を得よう。	奥住昌史氏（くるまるしえカンパニー代表）

保育について：定員先着12人（0歳児は3人まで）令和3年2月24日生～就学前の幼児

11月25日（木）午前10時～11時30分 慣らし保育・オリエンテーション

2月 3日（木）午前10時～正午 保育懇談会

申込み期間：11/15（月）以降は先着で随時（除日・月・祝日）午前8時30分～午後5時

☑️申し込み可

申込み・問合せ：南街公民館 ☎042-564-2771

今どきの教育、ディベートって何？

講師 黒川(ディベートのつづらま)先生



自己紹介

- ・ 武井 暁司(たけい けいじ)、福岡出身。
- ・ 学生時代の時から、ディベートクラブに所属。近畿大学、ディベート普及活動に尽力。
- ・ 「ディベート予選」等の中高生向け大会の審判員や全国ディベート連盟ジャパンオンライン予選のコーディネーター等を経験。その他、早稲田大学イベントプログラム協力、鎌倉学園高校・有明大学経済学部の合同開催のワークショップ、ディベート普及活動に取り組む。
- ・ 著書「予選と学ぶディベートの本」



本日の内容

- ・ ディベートとは何か？
- ・ 調査型ディベートについて知ろう！
- ・ 教育ディベートの意義と課題
- ・ ご家庭でできること



1) ディベートとは何か？

ディベートの定義と歴史



ディベートの定義

- ・ ディベートとは英語の Debate の訳語。本来の意味を英和辞典で見ると、
DEBATE: a discussion, as of public question, in an assembly, involving opposing viewpoints. - Random House Dictionary, 2nd ed.
- ・ 以上から、ディベートとは、

① 公的な問題をテーマに、	討論
② 対立する複数の視点があって、	
③ 第三者に説理的である。	



ディベートの種類

- ・ ディベートは行われ方によって、2種類に分類される。
- 実社会ディベート ~ 実社会に影響を及ぼすディベート。
(広い意味のディベート)
- 教育ディベート ~ 訓練のために行われるディベート。
(狭い意味のディベート)



実社会ディベートの歴史

- ・ 実社会ディベートの歴史は古代ギリシャに遡る。
- ・ 西洋諸国に受け継がれた実社会ディベートは、現代日本にも受け継がれている。



教育ディベートの特徴

- ・ 決められた議題に対してランダムに、肯定派・否定側に分かれる。
- ・ パートが決められており、1パート1人が担当し、交互にスピーチを行う。
- ・ スピーチの時間が決められている。
- ・ すべてのスピーチが終了後、審判が判定を決める。



日本における教育ディベート

- 戦後～教育ディベートは競技として行われた。
 - ①創刊討論会、相互討論会
 - ②英語調査型ディベート
- 90年代～競技・授業・研修等でディベートが行われる。

例)ディベート甲子園、英語科異型ディベートの発祥
教育雑誌でのディベートの登場、企業研修など。

教育ディベートのスタイル

- 訓練のために行われる教育ディベートは、主に2つのスタイルで実施されている。
 - 調査型ディベート～ 前もって論題が発表され、事前に資料などを調べてディベートに臨む。
 - 即興型ディベート～ 論題は直前に発表され、即興的にディベートに臨む。

2) 調査型ディベートについて 知ろう！

ディベートの流れやルール

調査型ディベートの特徴

- 論題については事前に発表され、一定期間の準備を行い、資料などを用意してディベートに臨む。
- 自分たちの主張を支える根拠として証拠資料を引用する。
- 論題は価値や事実に関するものよりも、政策に関するものが多い。

調査型ディベートのパート

- 立論～ 論題を肯定(否定する)理由を説明するパート。
- 質疑応答～ 立論に対しての質問と応答を行うパート。
- 反駁(反論)～ 相手の立論の根拠に対する反論。
また、後半では反論に対する
再反論や根拠の比較などを行う。

調査型ディベートの試合の流れ(例)

肯定側	否定側
1.肯定立論	2.否定立論
3.(肯定側質疑への応答)	3.肯定立論
4.肯定反論	4.(肯定側質疑への応答)
5.肯定側第一反駁	5.否定側第一反駁
6.肯定側第二反駁(総括)	7.否定側第二反駁(総括)

3.審判による判定

どうやって判定を出すのか

- 審判は自分の主義・主張はいったん置いておき、話された内容だけで客観的に議論を判断する。
- 論題を肯定すべき理由(メリット)と論題を否定すべき理由(デメリット)を比較し(反論等を加味して)、どちらの方が大きいと判断して判定を下す。

3) 教育ディベートの意義と課題

初等教育における教育ディベートに何を期待すべきか

ディベートで培われる能力

- 聞く力 ~ 相手の話の意図を聞き取る力が磨かれる。
- 考える力 ~ 情報を適切に整理したり、判断する力が磨かれる。
- 書く力 ~ 考えを的確にアウトプットする力が磨かれる。
- 話す力 ~ 人前を立てて話すことで、表現能力が磨かれる。



なぜ初等教育でディベートが行われるのか

- 総合的学習の時間の一環での実施。
- 学習指導要領の改訂(2017年改訂、2020年実施)で、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の導入が挙げられている。
- 「ディベートを学ぶ」と「ディベートで学ぶ」の2パターン



教育ディベートの効果

- 実際の児童の反応(小学4年生へのアンケート)
- 「真剣に取り組む・集中して話す・聞く」
- 「自分たちで学習ができる」
- 「チームワークで助け合う」



教育ディベートの課題

- ディベートの定義が一律でない。
- 教える側がディベートの経験に乏しく、形式のみの導入にとどまることが多い。
- ディベートは単発で終わることが多く、継続的なトレーニングになりづらい。



教育ディベートに何を期待すべきか

- 「きっかけ」としてのディベート
- 自分の意見を伝えるようになるきっかけ
- 人の話をきちんと聞くようになるきっかけ
- 自分で調べるようになるきっかけ
- 議題のテーマについて考えを深めるきっかけ



4)ご家庭でできること

教育ディベートを楽いものにするために



ご家庭でできる練習

- 1分間スピーチ
- ブレインストーミング
- 原稿のチェック
- アフターディベート



フィードバックのポイント

- ディベートでは何を主張してもいい！
- 評価されるかどうかのポイントは認得力があるかどうか。(根拠がしっかりあるかどうか。)



気を付けたいこと

- 「ディベートの勝ち」が「正しい」という認識。
- 結果よりもプロセスをほめる。
- 得意・不得意はどうしてもある。人との比較ではなく、何に取り組んで、何が変化したかを評価。



資料③

家庭のできる練習

1 分間スピーチ

■手順

- ① 自由なテーマで1分間スピーチを行う。
(友達と何をして遊んだ、学校での出来事など、なんでもOK)
- ② スピーチの内容について質問をする。
(なぜ、どのように、どうなった等)
- ③ フィードバック
(5W1Hを意識できているか、質問にきちんと答えられているか、話を聞く人の方を向いて話せているかなど。)

■ねらい

- ・話すことに慣れる
- ・理由をつけて話すことに慣れる
- ・質問をする/質問に答える練習

■ポイント

- ・話す側/質問する側を入れ替えてやるのも練習になる。
- ・可能であればマンツーマンよりも、複数人に見てもらった方がよい。
- ・フィードバックのあと、再度、スピーチを行うのも効果的。

ブレインストーミング

■手順

- ① 大きい紙(A3用紙、カレンダーの裏などでOK)の真ん中に論題を書く
- ② 「風が吹けば桶屋が儲かる」的な感じで論題を採択すると何が起こるか、順番に書き出していく。
- ③ 最終的にメリットとデメリットがわかるように印をつける。

■ねらい

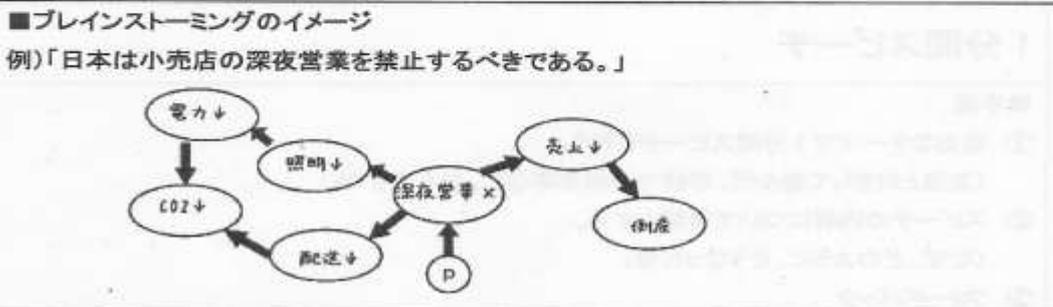
- ・テーマについて、自由な発想をする、意見を出す。順序だてて考える練習。

■ポイント

- ・自由な発想をすることが大事なので、ばかげていると思っても否定・非難しない、とにかくたくさん意見を出す。

資料③

家庭でできる練習



原稿のチェック

■手順

- ① 紙に三等分になるよう線を引く。
- ② 原稿の内容を、左側に主張(言いたいこと)、真ん中にその理由(またはデータ・資料)、右側に結論(主張の結果、最終的に何を言いたいか)という形で書き分ける。
- ③ 次のポイントをチェックする。
 - ・主張の流れが飛躍していないか。
 - ・最終的に言いたいことは明確になっているか。

■ねらい

- ・原稿の内容を目に見える形に書き出すことで、議論の構造をチェックする。

■例

主張	根拠	結論
深夜営業を廃止すると、電気の消費量が減る。	深夜営業は照明や空調などをたくさん使うから。	
↓		
電気の消費量が減ると、CO2の排出が減る。	発電の際に、たくさんのCO2が排出されているから。	
↓		
CO2の排出が減少すると、地球温暖化防止に貢献できる。	地球温暖化の原因は、CO2の排出量の増加によるものが多いから。	地球温暖化防止のために小売店の深夜営業を禁止するべき。

家庭でできる練習

アフターディベート

■手順

- ① ディベートの授業が終わった後に、自分は論題に賛成か反対か述べてもらう。
- ② 賛成/反対の理由を話す。
- ③ 意見交換をする。

■ねらい

- ・論題のテーマに対して、客観的な立場→自分へ関係あることとして意識を転換する。
- ・自分の意見を持つきっかけを作る。

■ポイント

- ・「ディベートで教える」時に有効な取り組み。

★最後に、質疑応答を含めて

さいごに

「人間と、そのさまざまな欲求を理解するためには、人間を、そのもつ本質的なものによって知るためには、諸君の本然の明らかな相違を、おたがいに対立させあってはいけない。そうなのだ、きみらは正しいのだ。きみらはいずれも正しいのだ。理屈はどんなことでも証明する。」(サン＝テグジュベリ)



以上